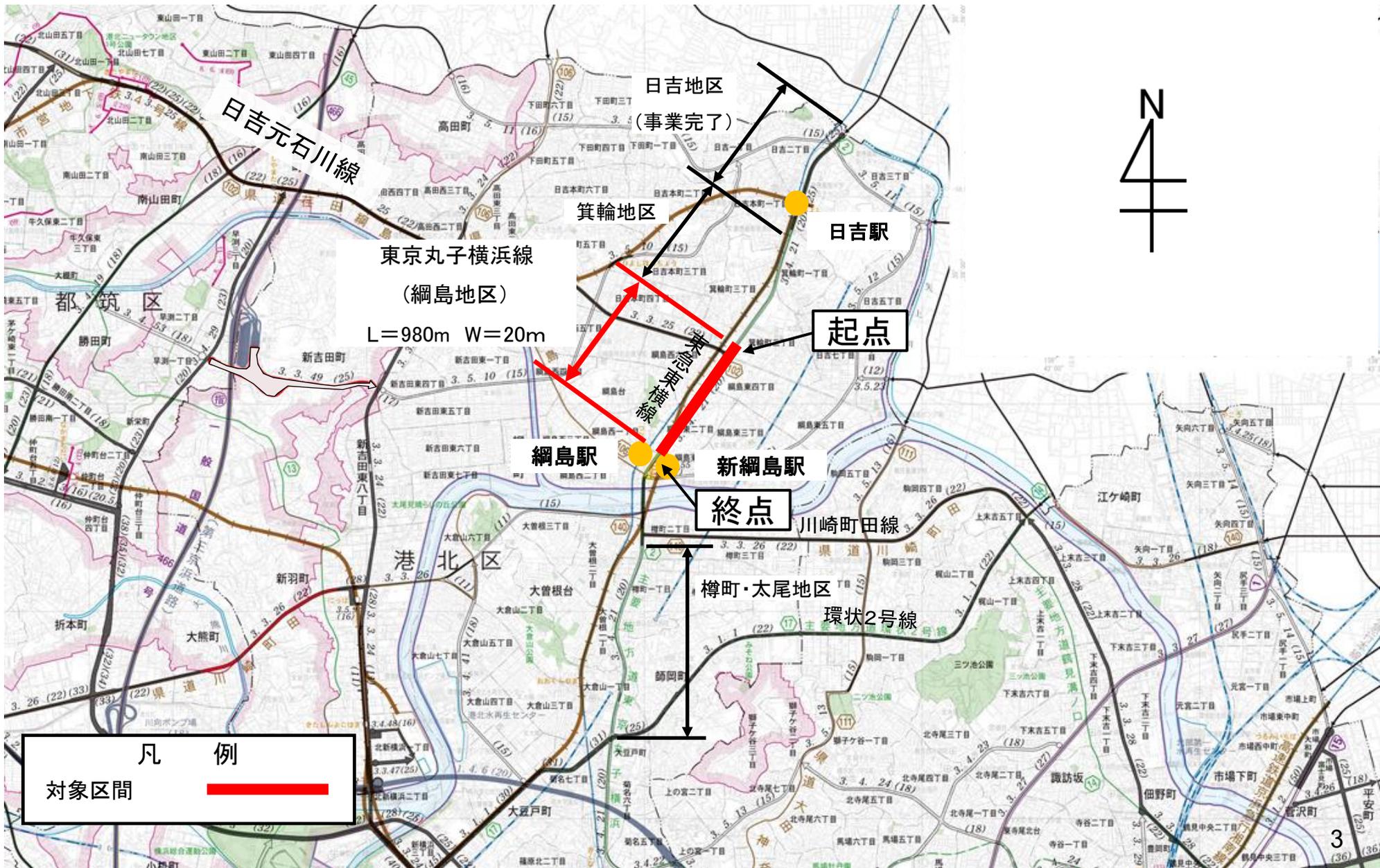


道路一4

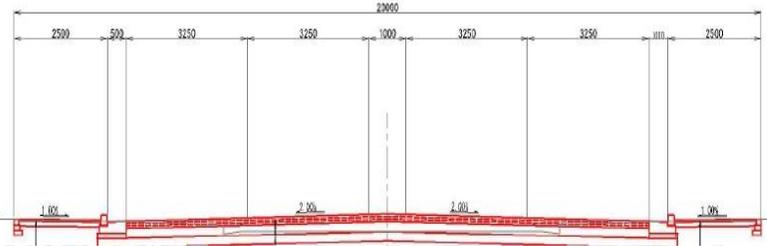
都市計画道路 東京丸子横浜線
(綱島地区)

事業概要



都市計画道路東京丸子横浜線(綱島地区)

標準断面図



東京丸子横浜線(綱島地区)
L=約980m W=20m

事前評価時 L=約810m

北綱島交差点

綱島駅前交差点

綱島駅東口駅前地区
第一種市街地再開発事業

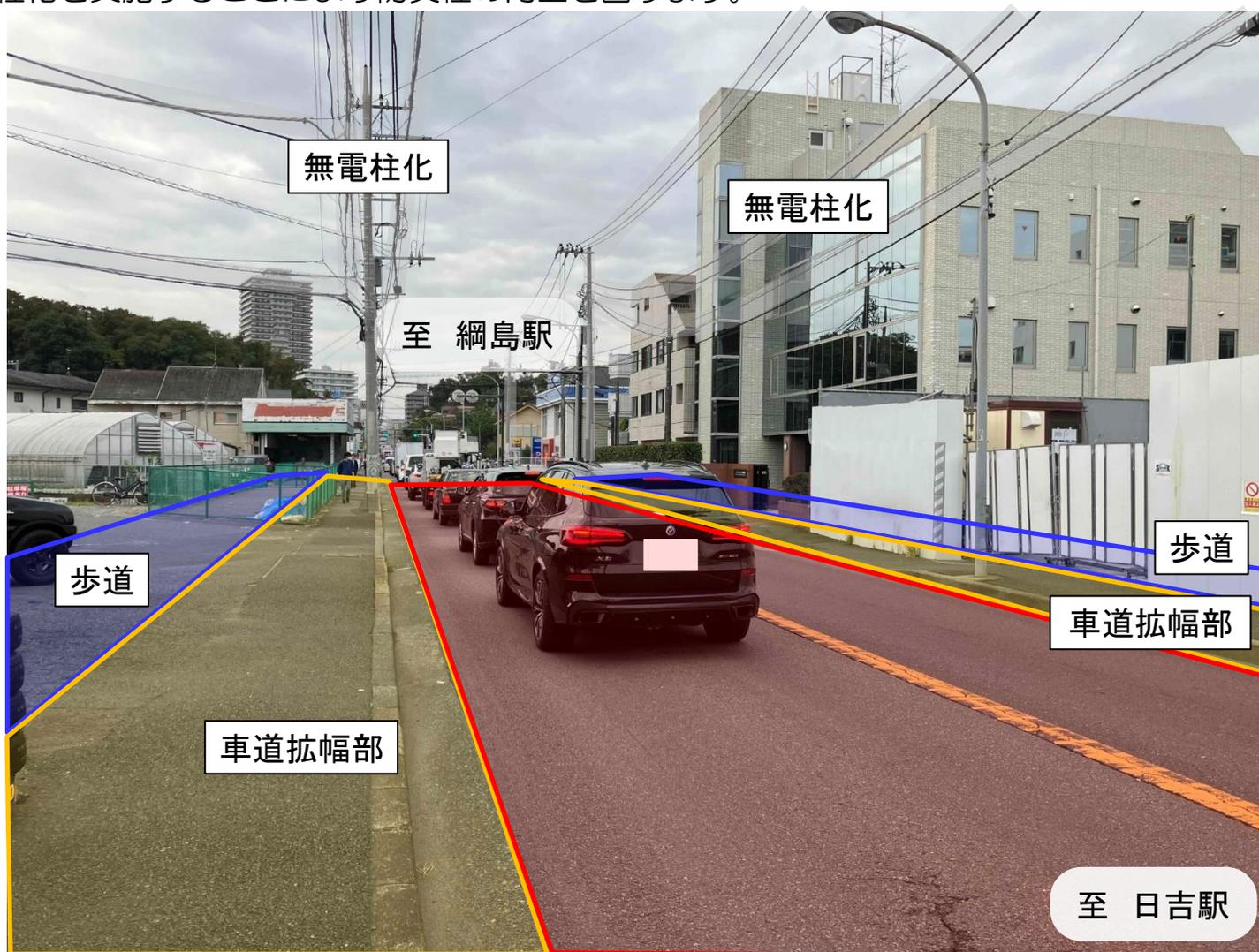
綱島交差点

新綱島駅周辺地区土地区画整理事業

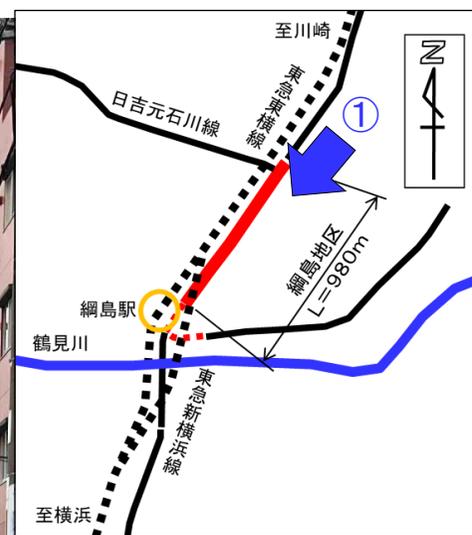
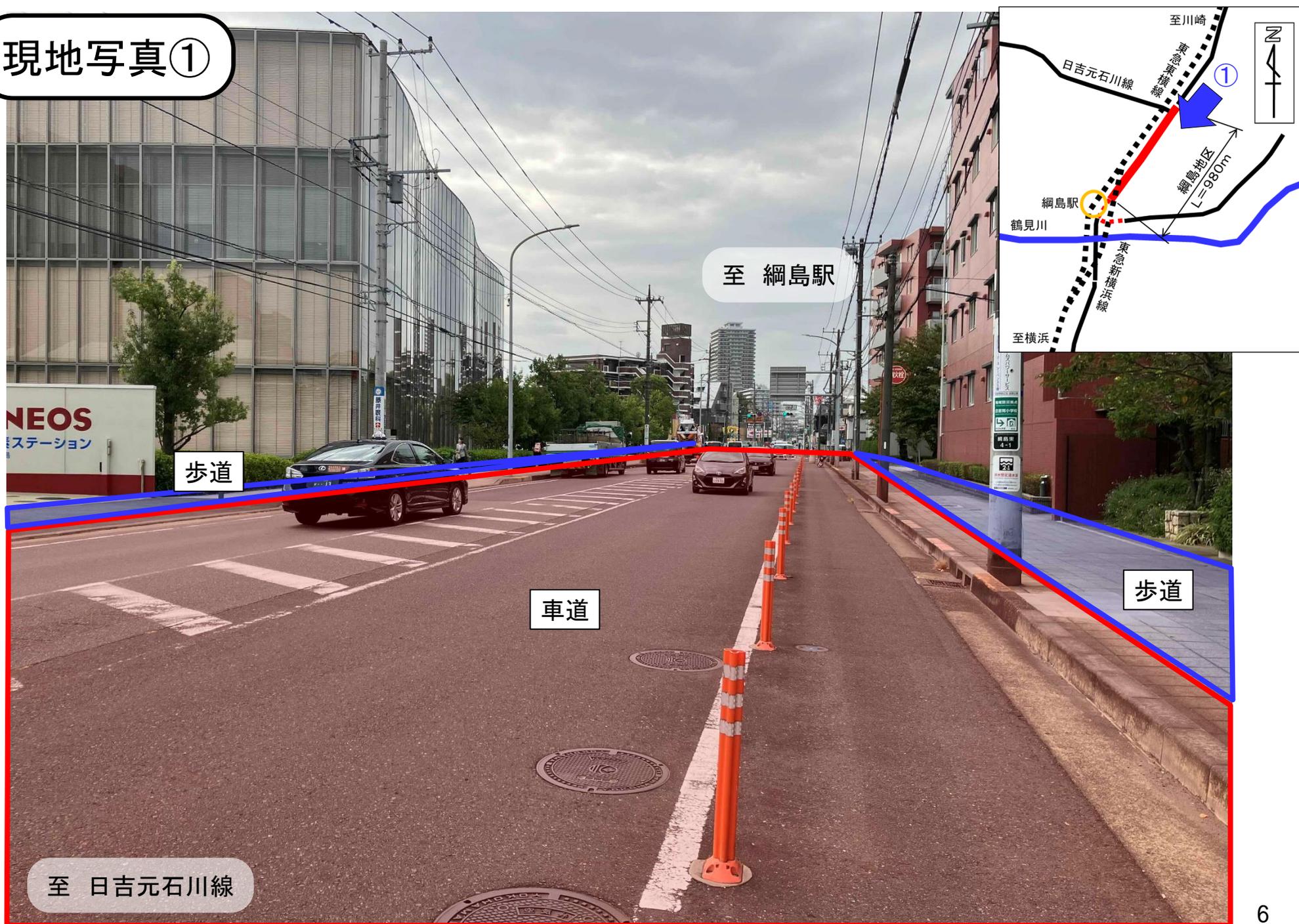
新綱島駅周辺地区
第一種市街地再開発事業

整備効果

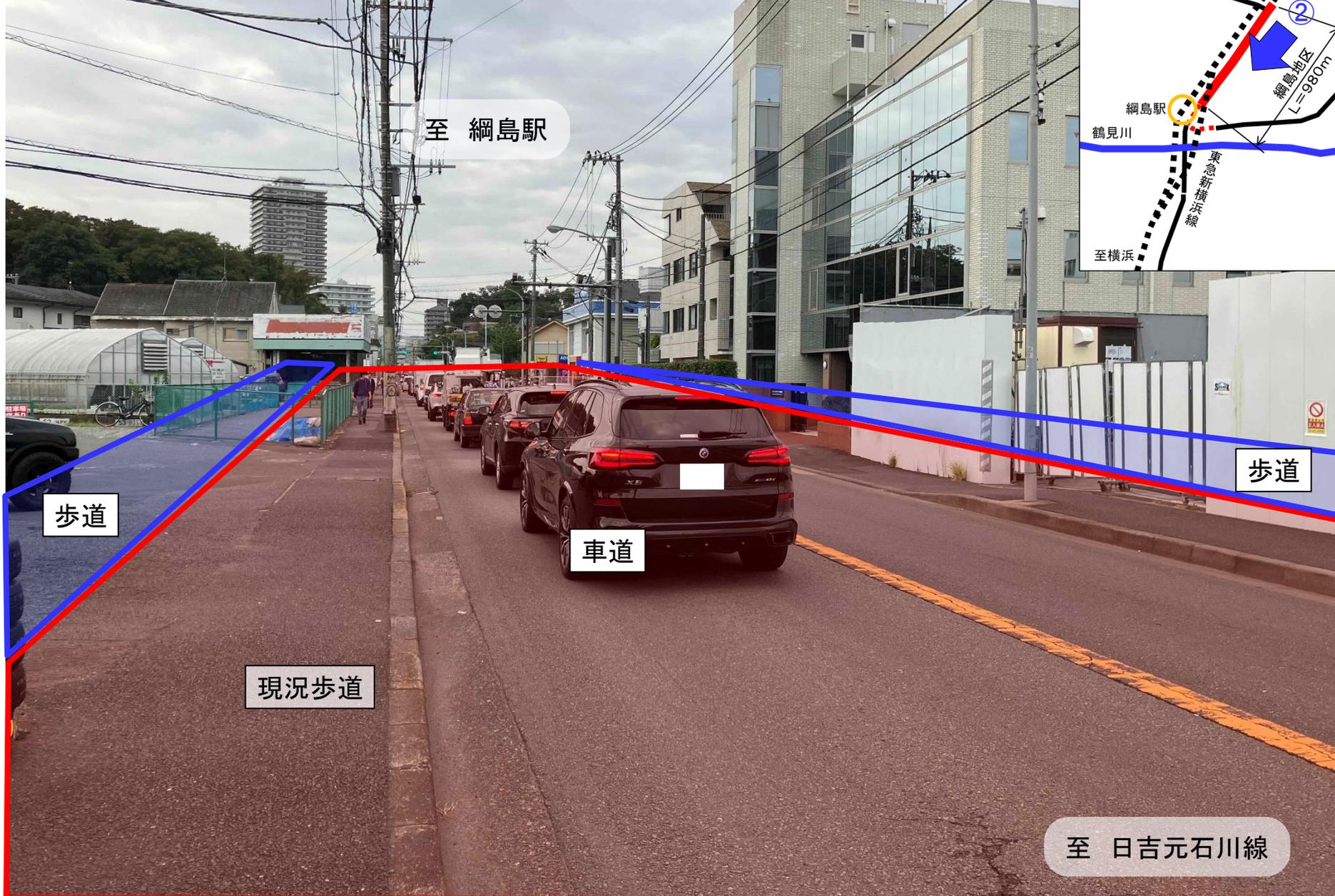
- ① 現況2車線から4車線に拡幅改良することによって、交通渋滞の緩和、沿道環境の改善を図ります。
- ② 東急東横線各駅へのアクセス、歩行者の安全性の向上を図ります。
- ③ 無電柱化を実施することにより防災性の向上を図ります。



現地写真①



現地写真②



至 網島駅

歩道

車道

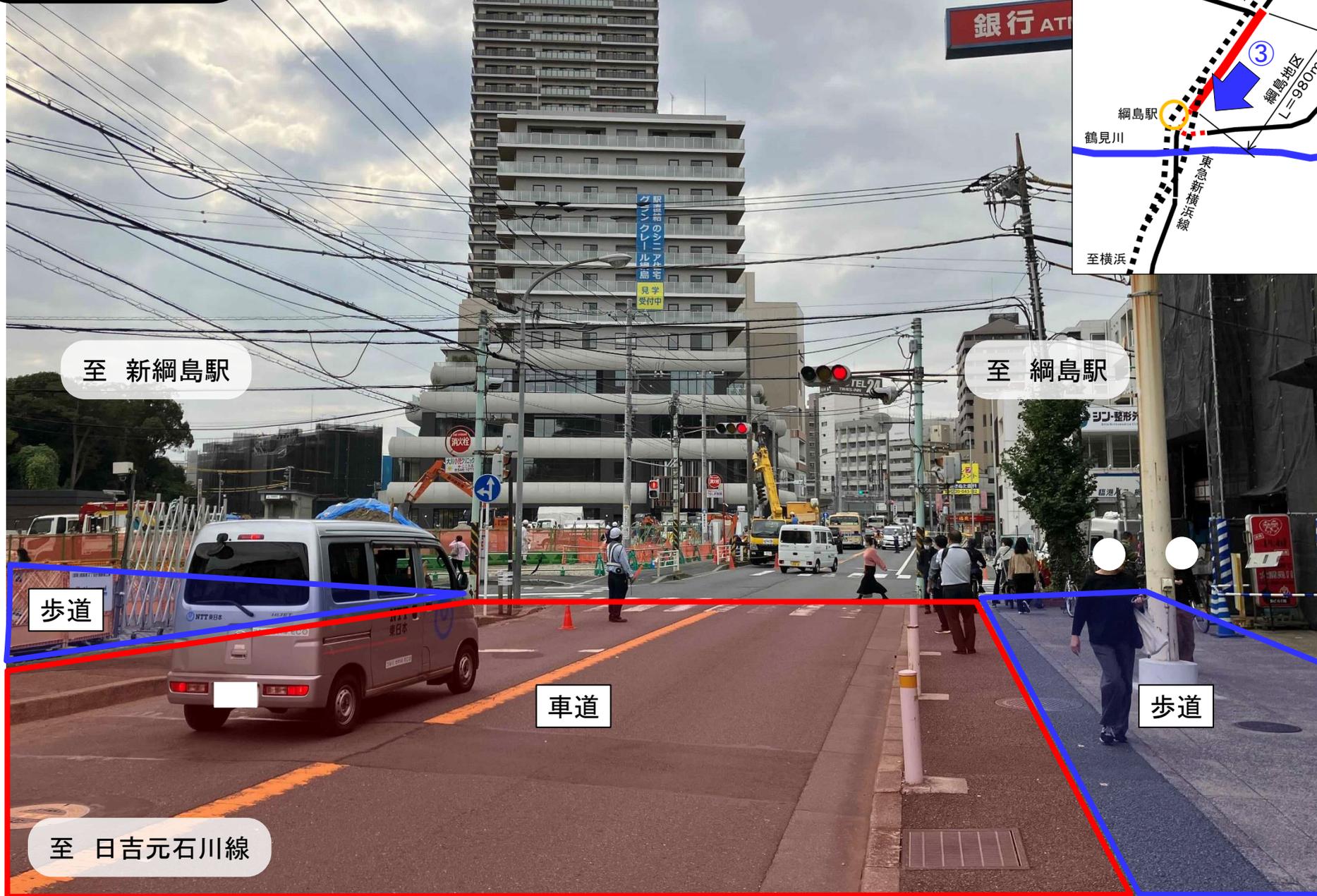
現況歩道

歩道

至 日吉元石川線



現地写真③



至 新網島駅

至 網島駅

歩道

車道

歩道

至 日吉元石川線

事業費及び事業期間

		当初(事前評価時)	変更(事業採択時)	変更(予定)(令和5年度)
事業期間		平成22年度～平成33年度	平成30年度～令和6年度	平成30年度～令和11年度
事業費	合計	3,208百万円	4,463百万円	4,463百万円
	国費	1,764百万円	2,454百万円	2,454百万円
	市費	1,444百万円	2,008百万円	2,008百万円

事業の投資効果

	事業全体
割引率	4%
総便益(B)	191億円
総費用(C)	41億円
費用便益比(B/C)	4.6
感度分析[交通量-10%]	4.3

事業の進捗状況

事業進捗率%	令和4年度末までの用地取得進捗率は30%、事業進捗率は28%となっています。令和5年度は引き続き用地取得を進めるとともに地元調整及び関係機関協議を進めながら設計を行います。
28%	
用地取得率%	
30%	
供用等の状況	
—	

事業の課題及び進捗見込み

今後、用地取得が完了した箇所の防災性の向上を目的として、電線共同溝及び歩道整備を先行して進めています。
引き続き用地取得と並行して施工可能な部分の工事を進め、令和11年度の完成に向け進めていきます。

コスト縮減

建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処理費のコスト縮減を行うとともに、舗装、構造物の基礎等について再生材を使用する等、可能な限りコスト縮減に努めます。

対応方針案

本路線は、現況2車線から4車線に拡幅改良することによって、交通渋滞の緩和が図られるとともに、沿道環境の改善にもつながります。また、東急東横線に平行する道路であり、令和5年3月に開業した東急新横浜線の新綱島駅へつながる道路であることから各駅へのアクセスの向上、新駅周辺で進められているまちづくりと一体的な整備による地域活性化、歩道拡幅に伴う歩行者の安全確保が図られるため、早期に事業完了を図る必要があります。

用地取得も継続して進めており、事業を継続実施する必要があると判断します。